

関係機関・関係団体の取り組み

機関・団体の名称	社団法人 仙台市医師会
<p>1 かかりつけ医等心の健康対応力向上研修会</p> <p>複雑な社会構造や、それに伴うストレスを背景に、こころの病は大きな問題となっています。特にうつ病患者は増加傾向にあることから、かかりつけ医ばかりでなく、看護師・助産師・薬剤師・栄養士・保健師などコメディカルも参加し、うつ病の知識、技術、精神科等の専門医師及び相互の連携を密にするべく、研修会を実施する。</p> <p>また、震災後、仮設住宅等で起きている健康問題（アルコール依存等）についてもプログラムに組み入れる。</p> <p>本年度は平成 25 年 1 月より実施予定。</p>	

機関・団体の名称	仙台市民生委員児童委員協議会
<p>1 民生委員児童委員として、それぞれ担当地域の委員による声かけ、見守り。</p> <p>2 相談相手として傾聴を大事に、当事者に寄り添いながら、時には関係機関と連絡を取り合い孤立化防止に努めております。</p> <p>3 長年継続しているサロン活動を通して、安否情報の収集や確認を心がけております。</p>	

機関・団体の名称	宮城県精神神経科診療所協会
<p>1 メンタルヘルス市民講演会と会員による無料個別相談会</p> <p>うつ病関連を中心に会員による講演と、その後に個別相談を年 3 回行う。</p> <p>2 震災後のメンタルヘルス支援活動</p> <p>石巻に設立した「からころステーション」を拠点として、来所・電話・アウトリーチによる被災者および支援者への相談・支援を行う。</p>	

機関・団体の名称	社団法人 宮城県看護協会
<p>1 研修会の開催(会員向け)</p> <p>(1) グリーフケア～家族の悲しみを癒す看護</p> <p>(2) 職場におけるメンタルヘルスケア</p>	

機関・団体の名称	宮城県精神保健福祉士協会
<p>協力会員や心のケアに携わる関係者に対する「支援者の支援」を意識した活動を実践していく。</p> <p>1 県内各地区(5 地区)にて、支援者同士が話し合える場を設け、それぞれが置かれている状況や問題を共有し、必要に応じて個別の支援を行う。また支援者が互いに協力したり、交流し支えるシステムの構築を検討している。</p> <p>2 『みちのくホットライン東北復興 PSW にゅうす』の発行 「孤立を防ぎ、繋がっているというメッセージを伝え続ける」ことを目的に、日本精神保健福祉士協会東日本大震災復興支援本部で『みちのくホットライン東北復興 PSW にゅうす』を発行し、広く会員並びに関係機関へ配布する予定。県協会ではホームページを通し、活動内容や研修の報告などをお伝えしている。</p>	
相談者・関係機関に公開可能な連絡先(住所、TEL、Web / E mail アドレス等)	
<p>宮城県精神保健福祉士協会事務局</p> <p>〒980-0811 仙台市青葉区一番町 1 丁目 13-20 村上ビル 3F</p> <p>TEL・FAX 022-398 9432</p> <p>E mail qqhc3ut9k@able.ocn.ne.jp</p> <p>月・水・金 (AM8:30 ~ AM12:00)</p>	

機関・団体の名称	宮城産業保健推進センター
<p>1 センターが開催する企業のメンタルヘルス対策に関する研修会やセミナー等の機会を利用して、「職場における自殺の予防と対応」(マニュアル)の内容の周知を図る。</p> <p>2 研修会等の開催 職場のメンタルヘルス推進担当者等に対して、相談に対応できる能力を修得するための話の聴き方講座などの研修会等を開催する。</p>	

機関・団体の名称	仙台労働基準監督署
<p>1 過重労働やパワハラ防止等の周知の徹底 精神疾患等から自殺に至るケースが多いと考えられ、特に過重労働やパワハラ等の複合要因からの精神疾患防止のため、過重労働やパワハラ防止等を周知徹底していきたい。</p>	

機関・団体の名称	宮城県臨床心理士会
1 電話相談	年 2 回の電話相談から継続的電話相談への移行

機関・団体の名称	社会福祉法人 仙台いのちの電話
1 電話相談	<p>(1) 仙台いのちの電話 : 365 日 24 時間受信</p> <p>(2) 自殺予防いのちの電話 : 毎月 10 日 24 時間受信</p> <p>(3) いのちの電話震災ダイヤル : 10 日を除く毎日 13:00 ~ 20:00</p> <p>* 全国いのちの電話ネットワークにより受信、仙台では約月 3 回</p>
2 インターネット相談	
3 東日本大震災被災者支援関連	<p>(1) ささえあいの会 月 1 回開催</p> <p>* 震災によって大切な人を亡くされた方のわかちあいの会</p> <p>(2) ほっとカフェ 月 3 ~ 4 回開催</p> <p>* 仮設住宅集会所等において、交流の場を設ける</p>
4 自死遺族支援	「すみれの会」(わかちあいの会) 毎月第 1・3 水曜開催
5 「無料法律相談とこころの健康相談会」(月 1 回開催)の業務受託(仙台市)	
6 公開講演会開催	<p>演題「きっと道はあると思うから」~ 自殺予防といのちの電話 ~</p> <p>講師 : 出村和子</p> <p>9 月 29 日(土) 13:30 ~ 仙台市シルバーセンター</p>
7 出前講座開催「聴く力を高めるカウンセリング連続講座」3.5 時間 × 8 日間	11 月 10 日(土) ~ 2 月 開催地 : 石巻圏
相談者・関係機関に公開可能な連絡先(住所, TEL, Web / E mail アドレス等)	
社会福祉法人 仙台いのちの電話 事務局	
〒981-8691 仙台北支店私書箱 26 号 TEL 022-718-4401 FAX 022-718-4431	
仙台いのちの電話 web http://www6.ocn.ne.jp/sen/index.html	

機関・団体の名称	仙台弁護士会
1	<p>プレシンポジウムの開催 平成 24 年 9 月 7 日開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神保健サービス, 自殺対策の活動をしている人たち, およびその活動内容の紹介 ・民間と行政との連携の方向性についての具体的な検討 ・被支援者が, 核になり, 自立したコミュニティを形成する活動 ・弁護士, 弁護士会が連携のコーディネーターになりうるか。
2	<p>相談活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・法テラスとの総合法律相談(自殺予防週間, 各地) ・仙台市との精神保健サービスとの共同相談(自殺予防週間) ・いのちの電話とのコラボでの, 震災なんでも相談(毎月)
3	<p>日弁連人権大会(10月4日、5日)に向けた準備活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・実行委員を派遣(土井) ・基調報告書, 自殺対策マニュアル作成 第2分科会
4	<p>自治体の自殺対策連絡会への参加 宮城県, 仙台市, 大和町, 石巻広域行政</p>
5	<p>今後の予定(方向性)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・メンタル面を重視した紛争解決を目指し, 関係機関との連携の可能性の模索。 ・共同法律相談だけではなく, 共同した紛争解決のシステムの可能性

機関・団体の名称	社団法人 日本産業カウンセラー協会 東北支部
1	<p>震災関連</p> <ul style="list-style-type: none"> (1)仮設住宅集会場での被災者支援 (2)被災地(宮城・岩手・福島)での個別相談 (3)ひきこもり等への支援
2	<p>全国一斉電話相談の実施 9月10日～9月12日, 産業カウンセラー協会</p>
<p>相談者・関係機関に公開可能な連絡先(住所, TEL, Web / E mail アドレス等)</p>	
<p>日本産業カウンセラー協会 東北支部 支部長補佐 神 春美 〒980-0014 仙台市青葉区本町二丁目 6-15-503 TEL 022-715-8114 FAX 022-715-8115 JICA 東北・管理 (manager_jicatohoku@hop.oce.ne.jp)</p>	

機関・団体の名称	仙台グリーフケア研究会
1	自死遺族のサポートとして、毎月わかちあいの会を開催し、また、他団体のシンポジウムや講演会等を共催している。
2	年度末に、昨年度同様医療者を対象とした講習会を予定している。 「医療現場で自殺未遂者に対応するためのワークショップ(案)」
相談者・関係機関に公開可能な連絡先(住所, TEL, Web / E mail アドレス等)	
<p>仙台グリーフケア研究会 仙台市青葉区一番町4丁目1-3 仙台市市民活動サポートセンター内 No.85 心のケア相談携帯電話 :080-3326-5612 または 080-3339-8127 HP : http://www.sendai-griefcare.org/</p> <p>佐藤利憲研究室 仙台市若林区五橋 3-5-75 仙台青葉学院短期大学内 :022-369-8032 メール:y_satou@seiyogakuin.ac.jp HP : http://kodomoshien.com/</p>	

機関・団体の名称	藍の会
1	電話相談事業 固定電話・携帯電話番号公開(24時間 365日) キャッチホンや留守番電話, FAX, 着信履歴でかけ直しをして相談を受け付け。
2	「藍色のこころサロン」 青葉区と太白区で月に3回開催。
3	個別面接相談 随時
4	精神科医療問題の相談が多くあるため、必要に応じて精神科医の相談につなぐ。
5	人材育成事業 スキルアップ講習会(野田正彰先生から学ぶ)
6	精神医療についての研修会 4回開催
7	自死遺族のわかちあいの会 毎月1回, 仙台市他県内5ヶ所で開催。
8	自死遺族の「茶話会」 月に2回開催。
9	震災で子供を亡くした父母の会
10	震災で家族を亡くした会
11	お寺での法話を聞く会の開催 県内4ヶ所で開催。
相談者・関係機関に公開可能な連絡先(住所, TEL, Web / E mail アドレス等)	
<p>田中幸子 仙台市青葉区北根1丁目 13-1-1803 TEL・FAX:022-717-5066 携帯:090-5383-0017 http://ainokaisendai.web.fc2.com/</p>	

機関・団体の名称	仙台市中学校長会
<p>【生徒】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 道徳の授業の中で、命の大切さについて考えを深めるように指導をしている。また、普段の学校生活の中で抱える様々なストレスなどについて、教職員に相談したり、スクールカウンセラーへ相談したりする体制を整え、未然防止を図っている。 2 文部科学省からの伝講を校長会でやっている。 3 文部科学省や教育委員会などで作成している資料などを用いて職員研修をしている。 4 仙台市青少年対策四機関（警察，児童相談所，子供相談支援センター，教育委員会）や「はあとぼーと仙台」と連絡会等を定期的に持ちながら情報交換を行い，未然防止を図っている。 5 心配な生徒について，保護者と連絡を取り合いながら対応を話し合ったり，教育委員会に相談したりするなど具体的な対応をするように努めている。 6 学校内の施設設備において，転落事故防止などの対策を講じることで未然防止を図っている。 <p>【職員】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 職場安全衛生委員会で，職員それぞれの状況等について確認している。 2 教育委員会で実施しているメンタルヘルス研修会等に職員が参加し，その研修内容を職員に周知している。 3 仙台市教育センターで実施している研修会等に職員が参加し，その研修内容を職員に周知している。 4 心の健康相談として，教育委員会で「心と体の健康相談センター」を開設し，希望する職員が相談できる体制を作っている。 	

機関・団体の名称	東北大学高等教育開発推進センター
<ol style="list-style-type: none"> 1 教職員対象の研修や学生対象のオリエンテーション・講話において，自殺問題を意識した内容を取り上げている。 2 ポストベンションについて，関係者の依頼を受け行っている。 	